

2009 年第 1 回 Model-WG 議事録

文責 安元 純 (琉球大学農学部)

要旨

- 午前中の Model-WG
 - 方向性と今年度の目標を協議。また、各都市詳細モデルの進捗状況を報告。
 - 各都市詳細モデル (MODFLOW) からの共通指標の決定
2009 年第 2 回 Model-WG (8 月最終週予定) までに各担当者が 2 つ程度提案する。同時に、他班からの要望を収集する。それを踏まえて最終的な共通指標の決定。
 - 抽出した共通指標を、統合指標や各班の結果と比較。
 - 例えば、地下水貯留量変化 (重力等)、滞留時間 (各種同位体 ^{14}C 等)、地下水流出量 (物質負荷)、帯水層の交換率 (レジリアンス?) など。
 - SWAT を用いた浸透量解析をまずバンコクで行う。つづいて、大阪、ジャカルタ、東京 (マンパワーが足りない・・・)。

- 全体会議
 - MODFLOW を用いた共通指標の抽出に集中し 4 都市間 (東京、バンコク、大阪、ジャカルタ) で比較する。
 - 共通指標に関する各班からの要望
熱班：地下水の流動方向と流速、
重力班：地下水貯留量変化
物質班：地下水流出量 (SGD)
水班：滞留時間?
社会経済：?
都市地理班：?
 - SWAT を用いた浸透量解析をバンコクで行う。大阪もできれば望ましい。